

The New York Times

MOMAが真っ向からファッションに飛び込む

■日付：October 6, 2017

■分類：全国紙

■国：アメリカ

■文：Roberta Smith (ロベルタ・スミス)

(以下、A-POC部分のみ抜粋)

鮮やかな赤の「A-POC Queen (エイ・ポック・クイーン)」(A-POC=「A Piece of Cloth／一枚の布」の頭字語)は、三宅一生と彼のもとでエンジニアリング・デザイナーを務めた藤原大が、チューブ状に編んだ1枚のニット素材から創り出したアンサンブルだ(〔マネキンの〕頭上にたなびいているのがその素材)。1枚の布で出来ている衣服とその経済性に関する壮大で包括的なアイデアの展示の一環であり、最大の見所である(カフタン、〔中東女性の民族衣装〕アバヤ、ジャンプスーツがこれに含まれる)。本展の最後で男性用スーツの歴史が再現されており、サヴィル・ロウ (Savile Row) の標準的なバージョン、トム・ブラウン (Thom Browne) と山本耀司による発展形、そして驚くほど肩幅が広いズート・スーツなどが展示されている。

〔訳注：キャプション〕

三宅一生と藤原大が創作した「A-POC Queen」。ロール状に巻いたファブリックを広げてゆくと、アンサンブル、手袋、バッグを作ることが出来る。1997年。マーク・ウィッケンズが『ニューヨーク・タイムズ』紙のために撮影。